

(様式1)



報道資料

令和5年8月3日

1 件 名	～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～ 「デジタル壁画に挑戦しよう in 大殿中学校」
2 日 時	令和5年8月9日(水) 13:00～15:00
3 場 所	山口市立大殿中学校(山口市古熊1丁目4-1)
4 内 容	<p>本市教育委員会と山口情報芸術センター[YCAM]が連携して実施する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の一環として、山口市立大殿中学校で「文化祭でのICT活用(※2)」の取組を行います。</p> <p>昨年度に引き続き、秋田公立美術大学 准教授 萩原健一氏を講師に招き、中学生が複数の映像を用いた映像表現を体験し、10月開催の文化祭で披露するデジタル壁画を創作するための手法を学びます。</p> <p>【日程】 13:00～15:00</p> <ol style="list-style-type: none">①開会行事②YCAMから③スタッフ紹介④複数の映像を用いた制作体験⑤ふり返り <p>(※1) やまぐち子ども未来型学習プロジェクト 教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報(メディア)リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざします。</p> <p>(※2) 文化祭でのICT活用</p> <ol style="list-style-type: none">①目的: マルチスクリーンなどの映像表現によるアートの創作・発表をとおして、生徒自身の発想力、創造力、論理的思考能力を育成するとともに、Chromebook等のICT機器の操作技術や情報(メディア)リテラシーの習得を図る。



山口市

②内容：YCAMや萩原健一氏が開発した映像表現制作の手法を活かして、大殿中学校の生徒が自分たちでオリジナルのデジタル壁画を創作し、文化祭で発表する。

③今後の予定：10月中旬からの制作期間を経て、10月28日（土）の文化祭で発表する。

【講師紹介】

萩原 健一（はぎはら けんいち）

1978年生まれ。映像作家／研究者。秋田公立美術大学准教授。国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS] DSP コース卒業。写真表現を軸に、映像メディアを用いて作品制作をおこなう。2005年文化庁新進芸術家国内研修として山口情報芸術センター [YCAM] 滞在后、2007年、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 修了。企業やプログラマーと協働したメディア教育教材の開発を研究の軸としている。主な展覧会に、scopic measure#6（山口情報芸術センター，2007）、Media/Art Kitchen（東南アジア，2013）など。

◆報道関係者の皆様へのお願い

・取材を希望される場合は、8月7日（月）までに学校教育課（馬屋原）まで御連絡ください。

5 出席者

山口市立大殿中学校の生徒（最大26名）及び教員、秋田公立美術大学 准教授 萩原健一氏、YCAMスタッフ、他スタッフ

6 問い合わせ

山口市教育委員会事務局 学校教育課

Tel (083) 934-2863